

【様式】

令和3年度 学校マネジメントシート

学校名（三重県立宇治山田商業高等学校）

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		<p>校訓「健康明朗 自律協同 誠実勤勉」のもと、 人生の基礎となる力（「志」と「専門性」）を育む学校</p>
(2)	育みたい 児童生徒像	<p>○自他を尊重するとともに、規範意識を大切にする人間性豊かな生き方を目指す生徒</p> <p>○進路実現に向けて主体的・創造的・積極的に挑戦する活力ある姿勢や態度を大切にする生徒</p> <p>○探究的な学習、地域や国際交流活動等を通して「企画力」「調整力」「実践力」「突破力」「地域への貢献力」等の能力を備えている生徒</p>
	ありたい 教職員像	<p>○法令・法規を遵守し、信頼ある教育活動を展開する教職員</p> <p>○目指す学校像の実現に向け、生徒の多様な力を伸長するため、絶えざる自己改革に努力を惜しまない教職員</p> <p>○生徒が減少する南勢地域において「山商ブランド」の更なる特色化に向け、情報共有と相互支援を行う教職員</p>

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>〈生徒〉 自己実現できる進路指導(就職・進学)。学習、部活動ともに充実した学校生活</p> <p>〈保護者〉 安心・安全な学校。子どもの進路希望(就職・進学)実現 部活動の充実と、きめ細やかな生徒指導</p> <p>〈地域〉 山商で身に付けた力を活かして地域社会に貢献する生徒と「山商ブランド」の維持</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p>〈家庭〉 進路状況など学校情報の提供</p> <p>〈中学校〉 生徒の志望に係わる学校情報の提供</p> <p>〈地域社会〉 地域創生へ向けた活動や地元での就職の推進</p>	<p>〈家庭〉 協働できる体制の確立</p> <p>〈中学校〉 体験入学や英語セミナーを通じた交流の推進</p> <p>〈地域社会〉 地元事業所からの求人の継続</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍において制約のあるなか、様々な対策及び工夫を教職員が行い教育活動を止めることなく実施してきたことで、生徒は例年と同様の学びを得ることができた。 ・ コロナ対策で得られたオンライン研修などの取組を、今後もさらに発展させて実施することは、今後の社会でリーダーとして活躍していく生徒には必要である。 	

(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文武両道の校是のもと、コロナ禍における教育活動を定着させるためにICTによる教育活動を積極的に推進し、生徒が充実した高校生活が送れるように取り組む必要がある。 ○ 文部科学省事業「グローバル型」最終年度として、SDGsの視点を持った地域リーダー育成に向けて地域連携した教育活動や国際交流活動に取り組み、次年度以降も持続可能な教育活動となるよう計画的に実施する必要がある。
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少子化における学級数減の中での3学科の魅力化に向けて再確認し、開かれた学校づくりを実現するため広報活動の充実を図る必要がある。 ○ 地域に根差した「信頼される学校」として、引き続き、教職員が法令遵守のもとで生徒・保護者等関係者の声に耳を傾けながら、風通しの良い学校に向けて取り組む必要がある。

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の自主性、主体性、創造性を育み、積極的に自己を生かしていくため、部活動振興を含め、文武両道を推進し、人間性豊かで活力に満ちた学校生活の確立に努める。 ○ 地域に開かれた学校づくりをとおり、キャリア教育の更なる充実を図るとともに、就職及び進学の実現に向け支援し、地域社会の発展に貢献する人材を輩出する商業高校を目指す。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 絶えざる自己変革（「学校力」・「教師力」・「生徒の人間力」の強化）を行うため、全教職員が授業公開を行うとともに、多様な学習成果の評価手法について組織的に研究を深め、授業改善を進める。 ○ ICT教育を推進して効果的な教育活動を実現するとともに、総勤務時間の削減に努める。

4 本年度の行動計画と評価

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重要取組

(1) 教育活動

項目	取組内容・指標	結果	備考
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業時間の確保と授業の質的向上に努め、適正な行事の時間を確保することで生徒・保護者の満足度を高める。 【活動指標】 ・ 各分掌、各学年等の年間計画を総合的に検証する。 ・ 学習指導要領改訂を踏まえた教育課程を検討する。 【成果指標】 ・ 生徒アンケート等による成果と課題の検証 年2回 ・ AiGROW 結果と生徒アンケートとのクロス分析 年2回 (「企画力」「調整力」「実践力」「突破力」「地域への貢献力」等) 		※
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業内容の充実を図り、生徒の学習意欲や学力の向上、進路実現に努める。 ○ 各教科の学習到達目標の作成や評価手法の充実・改善を図り、指導と評価の一体化に取り組む。 ○ 生徒の学習・生活状況の実態を把握するための調査を実施し、生徒理解に生かす。 ○ オンライン教育や、授業におけるICTの利活用による効果的な学習指導に努める。 		◎

<p>生徒指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全の徹底を図る。 ○ 生徒の自主性を高めるため生徒会活動や山商祭などの学校行事等を充実する。 【活動指標】 ・ 5分前行動を促し、授業開始前の着席指導を徹底する。 ・ 全教職員による「身だしなみ指導」「挨拶運動」を充実する。 ・ 交通安全に対する意識を高め、交通ルールの遵守に努めるよう指導する。 ・ 生徒会活動の活性化を図り、学校行事の創意工夫と実態に即した改善を行う。 【成果指標】 ・ 「頭髪指導」当日合格率 90%以上 ・ 自転車事故件数 年間 0件 ・ 生徒会による「挨拶運動」を実施 年間 20回以上 ・ 充実・改善を図った生徒会活動 年間 2回 		
<p>安全・安心な学校づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自他を尊重し、命を大切にできる態度を育成するため、あらゆる機会を通じて生命尊重の教育を推進する。 ○ スクールカウンセラーとの連携を図り、相談体制の更なる充実を目指す。 ○ 環境整備の充実を図るため、ゴミの減量・分別と清掃指導の徹底に努める。 ○ 全教職員の熱中症への対応を高める。 【活動指標】 ・ 学校の教育活動全体を通じて「命を大切にできる教育」を検証し、取組内容を充実する。 ・ 教育相談体制を充実させることで活用しやすい体制をつくるとともに、教員の指導力の向上を図る。 ・ 学校環境デーなど生徒と教員の取り組みを活発にし、環境美化、節電、ゴミ減量・削減に向けて努力する。 ・ 新型コロナウイルス感染症予防のため、手洗い、手指・器具消毒などを徹底する。 【成果指標】 ・ 「命を大切にできる教育」に係る講演会の実施 年1回 ・ 保健講話（熱中症講演会）の実施 年1回 ・ 高校生活セルフチェック「不安や辛さあるいは怒りなどを感じる」生徒の割合 昨年同時期より減 ・ 校内でのクラスター発生数 0回 		<p>◎</p>
<p>人権教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「三重県人権教育基本方針」に基づいた人権教育カリキュラムを確立するとともに、それを実効あるものとするための総合的・系統的な推進体制の充実を図る。 		

	<p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 入学から卒業まで、3年間を通じた体系的な学習となるよう計画立案する。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権教育カリキュラムに基づいた授業を、全学年で各学期1回以上実施する。 		
読書指導	<p>○ 教科の学習及び特別活動に役立つ資料の充実に努め、利用を促すとともに、自由な読書の機会を保障する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒・保護者向け及び教職員向けの図書館だよりを発行する。 図書館主催のイベントを充実する。 ビブリオバトルに参加し、生徒の表現活動を推進する 昨年度に続きコロナ対策を徹底し、生徒が安心して図書館を利用できる環境を提供する。 生徒の貸出履歴等個人情報に係わる情報については管理を徹底し、図書部内で意識の統一を図る。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館の貸出冊数 全体で 15,000 冊以上 教科の授業や特別活動と連携した図書館利用回数 年 100 回以上 		
改善課題			
(年度末に記載)			

(2) 学校運営等

項目	取組内容・指標	結果	備考
組織運営	<p>○ 信頼される学校であるために、教職員間の規範意識および服務規律の確立に努める。</p> <p>○ 危機管理意識の高揚及び防災教育の推進に努める。</p> <p>○ 法令・法規を遵守し、過重労働の削減に努める。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校信頼向上委員会を定期的実施し、学校全体で組織的に学校信頼向上に取り組む。 防災危機の観点から「学校メール連絡網」への加入者数の増加を図る。 「校内ネットワーク」の積極的な活用により、教職員間の「情報の共有」に努める。 定時退校日、部活動休養日等を設定して時間外労働を削減する。 議題説明時間の短縮により、会議時間の効率化を図る。 	<p>(年度末および 適宜記載)</p>	<p>◎</p> <p>※</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 機械警備を適切に運用するため、戸締り、窓閉め、消灯などを徹底する。 公文書管理規程に基づく適切な文書管理を行う。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学校メール連絡網」加入者割合 100% 1人当たりの月平均時間外労働 30時間以下 年360時間を超える時間外労働者数 0人 月45時間を超える時間外労働者延べ人数 0人 1人当たりの年間休暇取得日数 年1日増加 定時退校日（月2回）できた職員の割合 90%以上 部活動休養日（週1回）できた部活の割合 95%以上 放課後60分以内に終了した会議の割合 85%以上 校舎施錠不備（委託業者施錠）回数 年3回以内 公文書の保存状況確認回数 年2回 		※
情報提供	<p>○ 開かれた学校づくりを実現するため、特色・魅力ある教育の情報発信（広報活動）の充実を図る。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公開授業、公開講座を開催する。 報道機関への資料提供、地域・中学校への学校Webページ等を活用した情報発信に努め、受検生の増加を図る。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公開授業 年2回以上 学校Webページの充実・更新 年140回以上 新聞記事等への掲載回数 年20回以上 公開授業・公開講座参加者アンケート満足度 85%以上 		◎
改善課題			
（年度末に記載）			

5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	（年度末に記載）
---------------------	----------

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	（年度末に記載）
学校運営についての改善策	（年度末に記載）